キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ エグザイル	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高2/元FHチルドレン
オプショナル		年齢	16	性別	Xジェンダー
覚醒	素体	衝動	嫌悪	初期侵食率	33 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0		2	7
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	35
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ジュラシックレコード	白兵	7r+1	4	12		
コンボ“両腕射出”(ﾛｰﾝﾁ･ｱｰﾑｽﾞ)	白兵	9r+1	4	28		侵:10 HP -5(失)
100%“過負荷”(ｵｰﾊﾞｰﾛｰﾄﾞ)	白兵	17r+1	4	37		侵:14→10 HP -5(失)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ジュラシックレコード(装甲値分)		10			

合計装甲：	10	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
コネ:UGN幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者:ジュラシックレコード	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
C:ブラックドッグ	2	2	major					
効果：	いつもの							
アームズリンク	3	2	major	武器		対決		
効果：	白兵D+Lv							
ライトニングリンク	4	4	major	武器		対決	Limit	
効果：	白兵atk+[Lv*4]　HP-5(失う)							
伸縮腕	2	2	major	視界		対決		
効果：	白兵攻撃射程視界化 判定-[3-Lv]d							
ヒュドラの怒り	4	4	set-up	至近	自身	自動	100%	
効果：	major判定+3d atk+[Lv*3] 効果中暴走付与							
異形の歩み	★		常時	至近	自身	自動		
効果：	どこでも移動可能 判定:肉体							
環境適応	★		常時	至近	自身	自動		
効果：	局地でも対応可能							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

食事をとらず、すべてサプリメントで完結するオーヴァード。
それだけだと口腔がダメになるので、よくキシリトール入りのガムを噛んでいる。
「わざわざ非効率な手段で栄養を摂取しなきゃいけないなんて面倒ですね」

ジョブズみたいに、いつもおなじ服を着ている。
「悩むのは時間の無駄ですから」

日常生活では色々細かいことの効率を気にするくせに、戦闘は大雑把で火力に物を言わせるスタイル。
「敵の分析なんてそうそう完璧に出来ませんよ。だから、強めに殴ってぶっ殺すだけです。
相手は敵。放置すれば害をなす。生きるためには殺せばいい。悩む必要なんてないでしょう？」

「私は罪を憎みます。私は人も憎みます。その方が、ややこしくなくて判断しやすいじゃあないですか、ね？」
秩序/悪。

元FHチルドレンで、虐待じみたスパルタ教育を受けていた。
FHにいた頃は食事中に殴られたり、吐かされたり、皿をひっくり返されるのが日常だったため、腰を落ちつけてご飯を食べることが出来ない。
椅子に座ってじっとすることは出来るが、食事をしようとすると落ち着いていられず席をよく立ってしまう。
立ち食いならワンチャン行けるかもしれない、と思って試したことがある。
しかし、他人が近くにいる時点でもう食事することに緊張を覚えてしまうらしい。もう人前だとお菓子とか軽食しか食えない。
故に、食事はすべてサプリメントで済ませているのだ。
「もういいんです。治すのは諦めました。
わりと【コレ】で空腹感は覚えませんし、食事会とかほとんど断ってますし、困ったことなんてありませんので」